

クリアダッシュ:使用マニュアル

ご使用前にお読みの上正しくご使用下さい

▶必ずお守り下さい◀

車の窓ガラス、メガネ、レンズには使用できません・曇り止め加工の鏡や洗面ユニットの鏡に使用するとコートを剥離します・ツヤが強くキズが目立つ素材、濃色の素材、メッキ素材、陶器、金属にご使用の際は必ず事前に目立たない箇所でキズが付かないこと、脱色等をお確かめの上自己責任にてご使用願います

■ウロコ汚れとは？■

水に含まれるカルシウムやシリカ、ケイ素成分が乾燥し堆積したものの上に、石鹸カスや皮脂汚れが付着した非常に硬い結晶で、その形状から通称「ウロコ汚れ」と呼ばれます。新品の鏡でも7日前後で新しい水垢の皮膜ができますので、定期的にクリアダッシュでお掃除して下さい。

※ユニットバスや浴室乾燥機をお使いの場合はさらに早く4~5日で水垢の皮膜ができます。

※ウロコ汚れは石灰化した汚れなので酸性の液剤で溶かせば簡単なのですが、鏡やステンレスが酸により薬焼けを起こすため使えず擦って落とすしかありません。ご使用された年数分の汚れが堆積していますので一度で全て落とそうと思わず、その年数分の回数(5年=5回)お使い頂くことで必ず改善されますので数回のご使用下さい。

■使用量の目安■ →30cm四方にキャップ1杯(10g)~2杯を目安に汚れの程度に応じてご使用下さい

■使用方法 + チェックポイント■ → 事前にボトルをよく振ってからご使用下さい

① 表面の汚れを水で洗い流し、水気を乾いたタオルで拭き取ります

② 液剤を専用パッドで塗布します → 液剤が薄まるのでパッドは水に濡らさないで下さい

→ ミニをご用意の方は10センチ四方程度でお試し下さい

③ パッドで強くしっかり擦ります → ウロコ汚れは硬くて頑固な汚れなので強く擦らないと落ちません

④ 鏡に残った液剤を必ずパッドで強く擦りながら十分に洗い流します

→ 暖かいシャワーをかけながら擦ると落ち易いです

※洗い流す際にまだ水垢が残っていてザラザラとした感触があった所は、汚れ落ちの感触を確かめながらも一度強く擦り落として下さい。

※シャワーをかけてもすぐに曇る箇所はまだ汚れが残っていますので念入りに擦って下さい。

汚れ、曇りが強い場合

・鏡全体を一気に擦ると力が分散しますので、まず10cm四方を擦って落としそれを広げていくと効果的です。一度で落ちない汚れも数回ご使用頂くことで必ず改善されます。

キズがある場合

・以前にクレンザー等でキズを付けてしまった場合、汚れが落ちるとそのキズが出てきますが7日前後で新しい水垢が付き見えなくなりますのでご安心下さい。但しキズの中にある汚れはもう落とせず、薄く線のように残ります。キズにより汚れが付き易くなっているのでこまめにお掃除して下さい。
※鏡の裏面に付いたカビや塗装面の腐食(通称=シケ)は修復できません

曇り止め加工の鏡の場合

・ウロコ汚れの下にある曇り止めコート面も剥離しないと曇りは解消されません。しっかり落とすためには数回のご使用、もしくはオービタルサンダー等のご使用をお勧めします。

ガラスの場合

・鏡と違いガラスの表面は荒れているためウロコ汚れが固着しているので、手で擦って落とすには大変な労力と時間、回数が必要です。早く綺麗にするにはオービタルサンダー等のご使用をお勧めします。

ガリガリするほど厚みがある場合

・爪で触るとガリガリする程の水垢の場合、事前に金属のヘラである程度削り取ってからご使用下さい。

■日頃のお掃除とお掃除の目安■

・日頃は入浴後にお掃除パッドで水洗いし、鏡の水気をよく拭き取って下さい。

・曇りが気になり始めたらクリアダッシュでお掃除をして下さい (1週間に1度のご使用をお勧めします)